

中2

数学

きほん

名前 _____

式による説明

____ 月 ____ 日

れい

偶数 $2n$ 、奇数 $2n + 1$ 、3の倍数 $3n$ 、2けたの自然数 $10a + b$ … 整数を文字の式で表す。

$3n + 3 = 3(n + 1) \rightarrow n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数 … $3 \times (\text{整数})$ の形にする。

1 数を文字の式で表す

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

- ☐ (1) n を整数とすると、偶数
- ☐ (2) 十の位の数が a 、一の位の数が b の2けたの自然数
- ☐ (3) n を整数とすると、奇数 $2n + 1$ の次の奇数

2 説明を完成させる

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

- ☐ (1) 連続する3つの偶数の和は、6の倍数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 n を整数とすると、連続する3つの偶数は、 $2n$ 、 $2n + 2$ 、ア □ と表される。

それらの和は、 $2n + (2n + 2) + (\text{ア} \square) = \text{イ} \square = 6(\text{ウ} \square)$

ウ □ は整数だから、 $6(\text{ウ} \square)$ は6の倍数である。

- ☐ (2) 連続する3つの整数で、もっとも小さい数ともっとも大きい数の和は、まん中の数の2倍になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕まん中の整数を n とすると、もっとも小さい数は ア □、もっとも大きい数は $n + 1$ と表される。

その2つの数の和は、 $(\text{ア} \square) + (n + 1) = \text{イ} \square$

イ □ は、まん中の数 n の ウ □ である。

できた □ / 5問

